

グロース ベッター発足にあたって

最近の世界の気象界は、短期の数値予報の完成という輝かしい発展がほぼ終わりに近づき、新しい長期予報へとめざして進んでいるように思われます。また長期予報は計画経済の一つの基礎となるもので、その方面からの要望も非常に強いことは周知のことです。

しかし、現在の長期予報は、いわば大正時代の短期予報に比すべく、基礎原理の点で暗中摸索状態にあるといってもいいすぎとはいえないように思います。そして、長期予報の完成への道は基礎原理の発見こそ最終的な目標ですが、それまでには地道なしかも困難な道をあゆまなければならないでしょう。

このような時代においては、パイオニア的な精神が必要であり、新しいアイディアによる野心的な研究、また同時に新しい進展の基礎となる地道な調査が必要になってきます。

長期予報の研究は日本だけでなく、最近では各国でいろいろの研究が行なわれております。このような各国の状況を知ることは一人ではなかなかできないことです。そして、日本の長期予報を発展させるためには、お互にいろいろな長期予報の情報を交換し、またお互に新しいアイディアを出し、お互にはげましあうことが必要なのではないのでしょうか。

本誌はこのような時代の要求に応じて生まれたものであり、多くの会員の御賛同をえて発展することを望む次第です。

昭和 36 年 9 月

高橋浩一郎